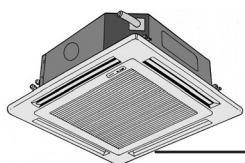
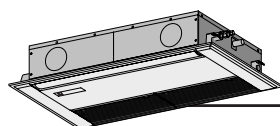
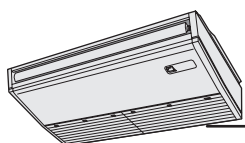
MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン

室内ユニット 冷媒R410A対応

PL-ZRP・BA6
PL-ERP・BA6
PL-RP・BA6

PL-RP・JA6

PM-(H)RP・FA6

PC-RP・KA(L)6

PC-RP・HA6

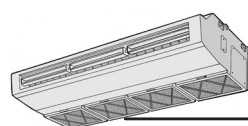
取扱説明書

●お使いになる前に

●運転のしかた

●お手入れのしかた・困ったときに

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
●保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
●お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

● お使いになる前に　安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	アース線接続
指示を守る	水濡れ禁止
濡れ手禁止	

⚠警　告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁　止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電や発火の原因になります。

水濡れ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。

電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を!
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁　止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。
お買上げの販売店にご相談ください。

換　気

⚠注　意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。または健康を損う原因にもなります。

禁　止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。

禁　止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。
品質低下の原因になります。

使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁　止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

保護具着用

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。

設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

設置禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

換　気

リモコンを先がとがった物で押さない

故障の原因になります。

禁　止

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。

使用禁止

⚠注　意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

エアコンの下方に食品や食器を置かない

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。

換気・送風運転

据付時　次の項目をご確認ください。

⚠警　告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください

据付け

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

元電源の取付位置を確認する

据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない

当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生の恐れがあります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

⚠注　意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れの恐れのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。
また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。
その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

●次の場所への据付けは避けてください

- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輌・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

アース工事を行う

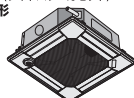
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

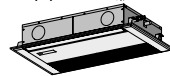
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

ムーブアイで快適・省エネ

三菱電機スリムエアコン独自のムーブアイセンサーで、より快適・省エネ性を向上させます。

対象機種

4方向天井カセット形〈ワイドパワーカセット〉
PL-ERP•BA6形
PL-RP•BA6形

天吊形
PC-RP•KA(L)6形

1方向天井カセット形
PM-(H)RP•FA6形

※4方向天井カセット形〈ワイドパワーカセット〉/1方向天井カセット形はムーブアイパネルに適用されます。

ムーブアイ スリムR スリムER

センサーを使って温度ムラを解消、足もとまでしっかり快適です。

室温はもちろん床温までセンサーで測ることで、体感温度を測定。
ムダな暖め過ぎや冷やし過ぎを抑え、常に程よい体感温度をキープします。

暖房の場合

従来品より設定温度が3℃低くても体感温度が同じだから

期間消費電力 約30% 節約 ※1

冷房の場合

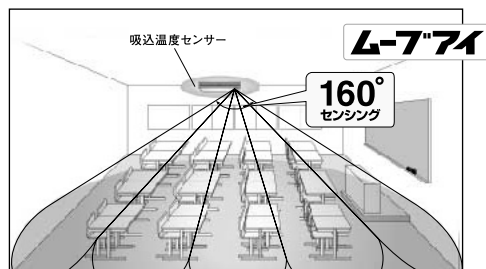
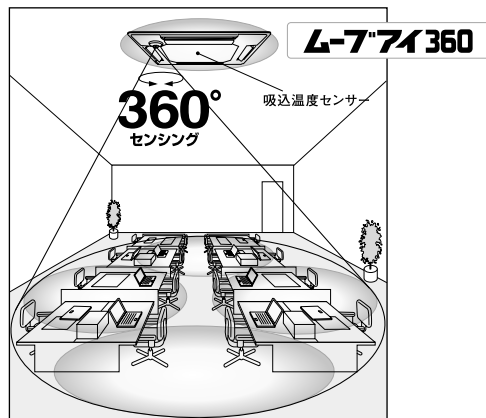
従来品より設定温度が1～2℃高くても体感温度が同じだから

期間消費電力 約15% 節約 ※1

お知らせ

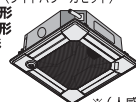
風速自動モードに設定することで、より快適・省エネの連動制御を行います。

ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。

設定方法 → 10ページ
「風速を変えたいとき」を参照ください。

対象機種

4方向天井カセット形〈ワイドパワーカセット〉
PL-ZRP•BA6形
PL-ERP•BA6形
PL-RP•BA6形

※(人感)ムーブアイパネルに適用されます。

エリアムーブアイ スリムR スリムER スリムZR

エリアごとにムダなく、くまなく冷暖房。すみまで効率的に空調します。

床面の暑いエリア、寒いエリアを見つけだし、風向を自動調節。
窓側や壁側など、エリアごとの温度ムラを解消します。

暖房の場合

従来の「ムーブアイ360」による暖房に比べ消費電力をさらに10%低減

期間消費電力 約40% 節約 ※1

冷房の場合

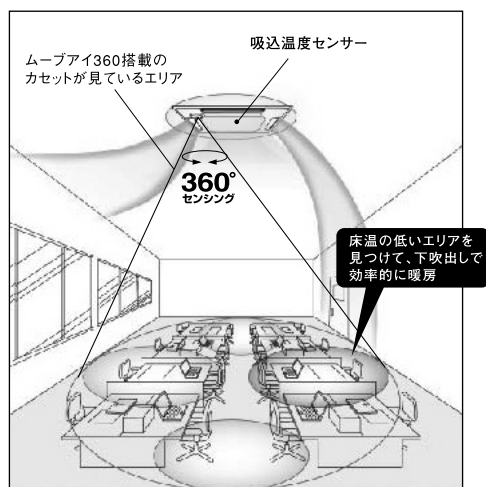
従来の「ムーブアイ360」による冷房に比べ消費電力をさらに10%低減

期間消費電力 約25% 節約 ※1

お知らせ

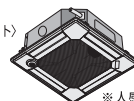
風向自動モードに設定する必要があります。

ワイヤレスリモコンでは風向自動設定はできません。

設定方法 → 11ページ
「上下風向を変えたいとき」を参照ください。

※1 ムーブアイなしの機種との比較。実際には使用条件及び設置環境等で異なります。

この機能の他にもワイヤードリモコンの各種省エネ運転が設定できます。詳細はワイヤードリモコンの取扱説明書をご確認ください。

人感ムーブアイ　スリムZR

※人感ムーブアイパネルに適用されます。

**人を中心に考えて空調する「省エネ自動モード」と「快適自動モード」、
従来の「エリアムーブアイ」が選べます。**

お知らせ

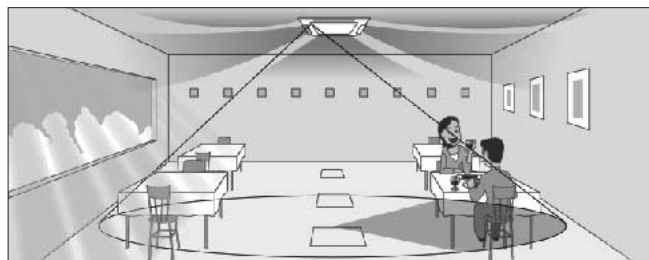
下記各種設定は、ワイヤードリモコンから設定できます。
（ワイヤレスリモコンからは設定できません。）

設定方法 → 21ページ
「人感ムーブアイの設定」
を参照ください。

■省エネ自動モード

「人感ムーブアイ360」が人の位置を検知すると、人のいるエリアを中心に体感温度制御を行い、人に快適でムダのない冷暖房を実現します。

暖房の場合
従来の「ムーブアイ360」による
暖房に比べ消費電力をさらに10%低減
期間消費電力 約40% 節約 ※1

＜冷房の場合＞ 涼しい場所に人がいる場合、人のいるエリアを中心に省エネ運転します。

お知らせ

風速自動モードに設定することで、より快適・省エネの連動制御を行います。
ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。

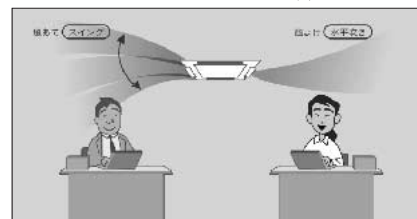
設定方法 → 10ページ
「風速を変えたいとき」
を参照ください。

※1　ムーブアイなしの機種との比較。実際には、使用条件及び設置環境等で異なります。

■快適自動モード

「人感ムーブアイ360」が人の位置を検知すると、人のいるエリアのベーン角度を設定に応じて自動的に調整します。
4つのベーンそれぞれに「風よけ※」「風あて※」が選択でき、ひとりひとりに快適な風を届けます。

※場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。

	冷房・ドライ・送風		暖房	
	風よけ	風あて	風よけ	風あて
人がいないとき	水平	水平	下吹き	下吹き
⬇ 人を検知すると				
人がいるとき	水平	スイング※	水平	下吹き

※送風運転時は下吹きになります。

お知らせ

風向自動モードに設定する必要があります。
ワイヤレスリモコンでは風向自動設定はできません。

設定方法 → 11ページ
「上下風向を変えたいとき」
を参照ください。

＜冷房の場合＞　※図はイメージです。

※暖房は下吹きになります。

■在室率省エネモード

「人感ムーブアイ360」が検知した室内にいる現在の人数と過去の最大人数から在室率を算出。
在室率に応じて、最大1℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。

■不在省エネモード

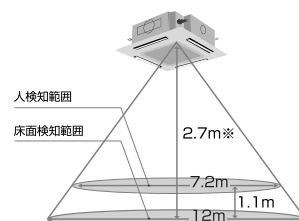
60分以上室内に人がいない場合、空調運転を自動的に2℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。
人が戻れば通常の運転に戻ります。

お知らせ

●人感ムーブアイの検知範囲について

人感ムーブアイは、天井高さ2.7m時に床面で直径12mの範囲の床の温度、及び、床面から1.1mの高さで直径7.2mの範囲で人を検知します。

●次のようなときには人を検知しにくくなる場合があります。

- 真夏など、室内の床,壁温度が高く、人体との温度差が少ないとき
- 厚着をして肌が表れていないとき
- 検知範囲内にいないとき
- 間に棚などの障害物があるとき
- 温度変化が大きい発熱体があるとき

※3.5m以上では人を検知しにくくなる場合があります。

各部のなまえ

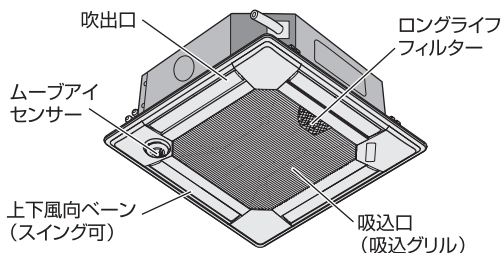
室内ユニット

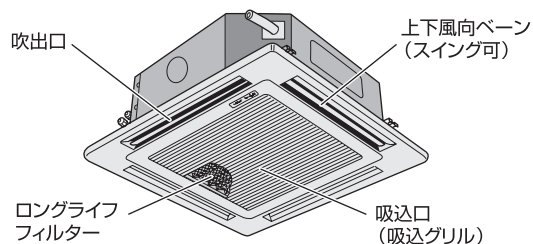
■ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

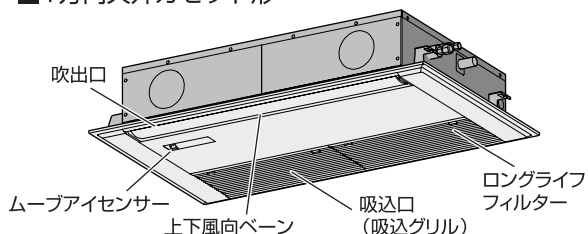
		PL-ZRP･BA6形 PL-ERP･BA6形 PL-RP･BA6形	PL-RP･JA6形	PM-(H)RP･FA6形	PC-RP･KA（L）6形	PC-RP･HA6形
風速		4速（自動可）	4速	※2 4速（自動可）	4速（自動可）	2速
上下風向調節		※1 自動（スイング可）	自動（スイング可）	※3 自動（スイング可）	自動（スイング可）	手動
左右風向調節		−	−	−	手動	手動
ロングライフフィルター		○	○	○	○	オイルフィルター
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間	2500時間	2500時間	2500時間	100時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種No.※4	冷暖切換タイプ	001	001	001	001	019
	冷房専用タイプ	033	033	033	033	051

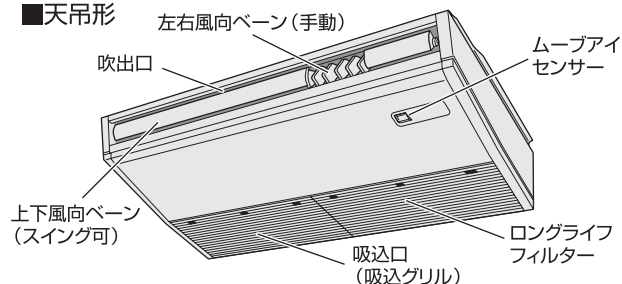
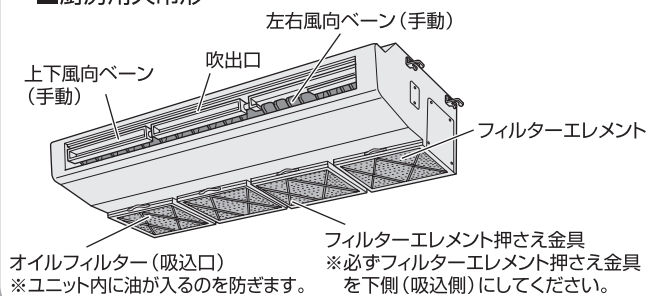
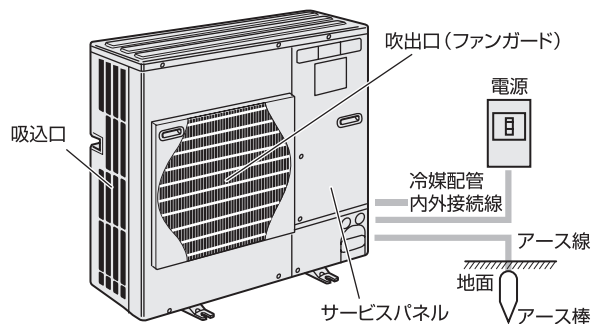
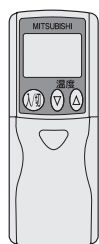
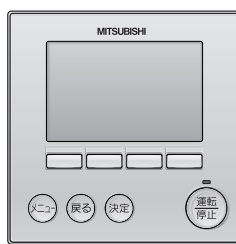
※1 暖房時はウェーブ気流になります。ワイヤードリモコンからベーンの固定設定ができます。
※2 別売前吹出しグリルを使用し、二方向吹出し設定とした場合、風速は1速となります。
※3 別売前吹出しグリルを使用し、前吹出し設定とした場合、パネルの上下風向ベーンは閉じた状態で固定となります。
※4 ワイヤレスリモコンをご使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」の設定を行ってください。
・室外ユニットタイプ（冷暖切換タイプ／冷房専用タイプ）により設定する「機種No.」が異なります。
・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

PL-ZRP･BA6形／PL-ERP･BA6形／PL-RP･BA6形

■4方向天井カセット形

PL-RP･JA6形

■4方向天井カセット形

PM-(H)RP･FA6形

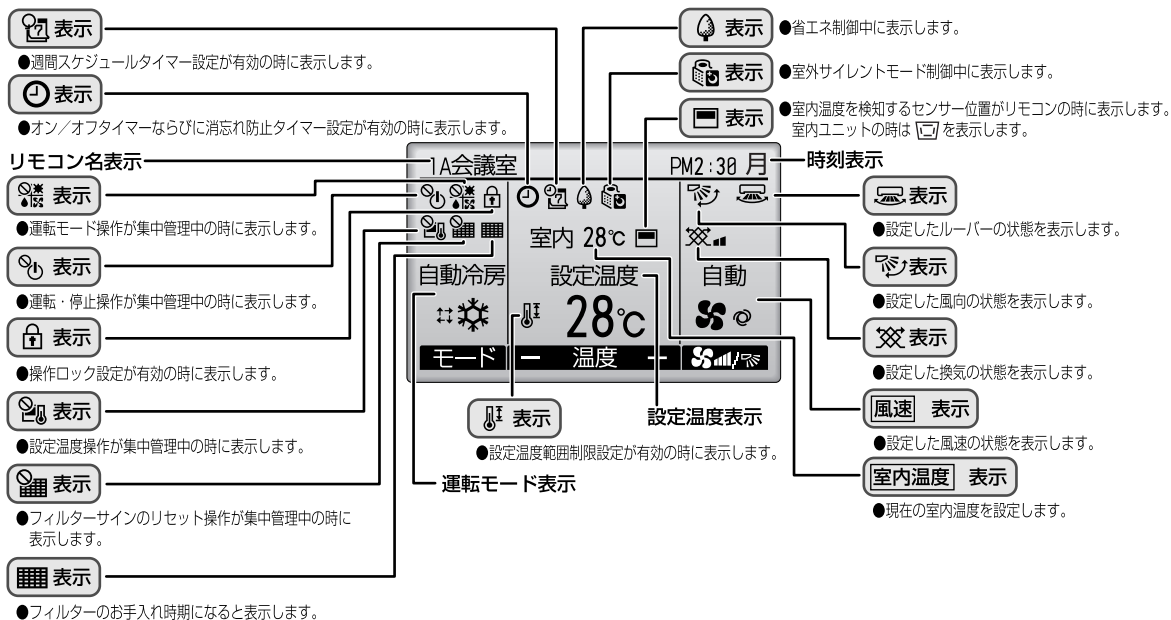
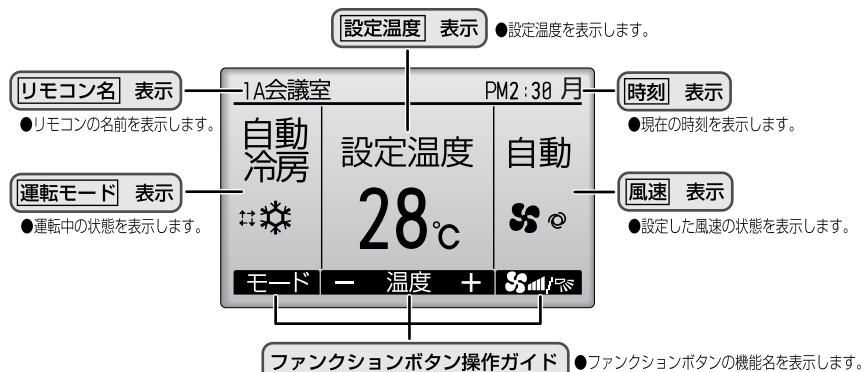
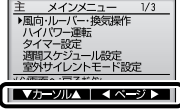
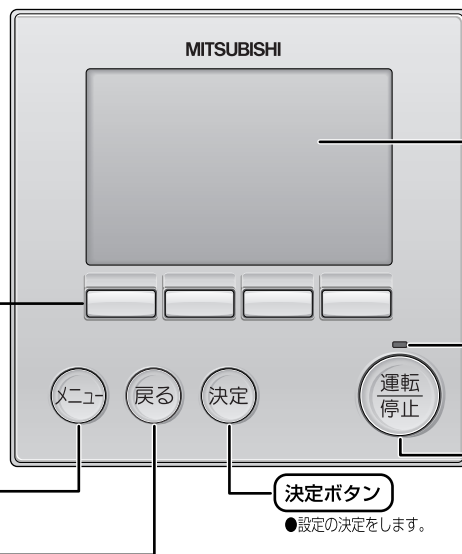
■1方向天井カセット形

PC-RP･KA（L）6形

■天吊形

● お使いになる前に 各部のなまえ

各部のなまえ

ワイヤードリモコン（別売部品）

表示部

■説明のためすべての表示内容を示しています。
■表示部は「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面

簡易画面

操作部

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
■基本運転（運転／停止、運転モード切換、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。

ワイヤレスリモコン（別売部品）

送信部

表示部
- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- リセットボタンを押したときは全表示します。

送信表示

タイマー表示

MITSUBISHI

冷房 ドライ 自動 送風 燃焼 暖房

点検 試運転 風速 機種設定 風向 スイング

この機能はありません

AMPM に切 に入

温度

運転/停止ボタン

設定温度ボタン
▽ 下げる △ 上げる

運転切換ボタン
（運転モード切換）

点検ボタン

ルーバーボタン
（左右風向切換）
※4方向天井カセット形、1方向天井カセット形、天吊形、厨房用天吊形では使用しません。

試運転ボタン

操作部

風速ボタン
（風速切換）

切タイマーボタン

入タイマーボタン

風向ボタン
（上下風向切換）

時ボタン

分ボタン

時計ボタン
（時刻合わせ）

リセットボタン

風速 切タイマー 運転切換 風向 入タイマー 点検 ルーバー 時 試運転 分 設定 リセット 時計 電池

フタを下ろした状態

■リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。

■電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。

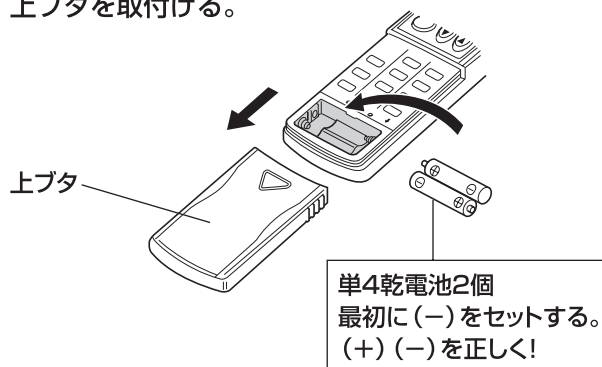
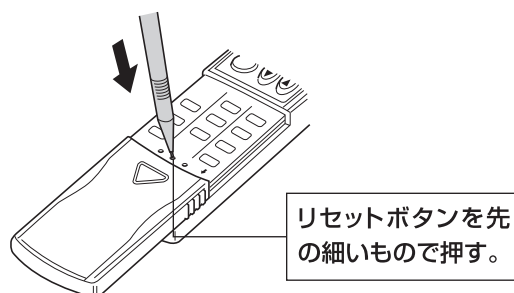
■リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

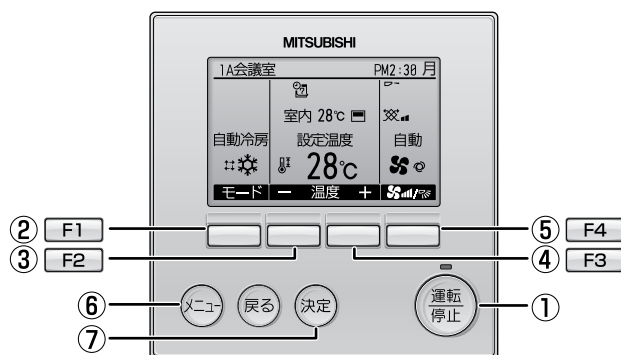
■受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。
お買上げの販売店へご連絡ください。

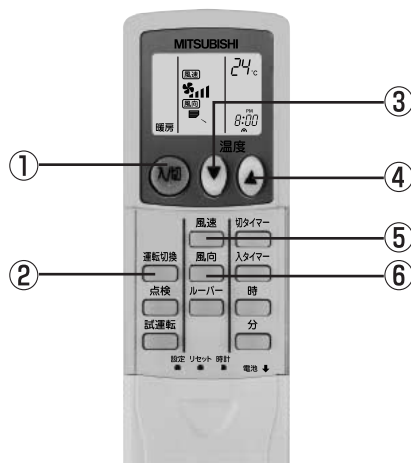
■リモコンの取扱いは大切に！　落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

■紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

1 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取付ける。

2 リセットボタンを押す。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転モード表示

冷房　ドライ　送風　暖房
自動　自動冷房　自動暖房

運転の開始、運転モードを選ぶとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

運転ランプと表示が点灯します。

●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ ドライ ➡ 送風 ➡ 自動 ➡ 暖房
（ドライ ※2、自動 ※1、暖房 ※1）

※1　冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。
※2　室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

ワイヤレスリモコンの場合

運転切換

表示が点灯します。

冷房 ➡ ドライ ➡ 自動 ➡ 送風 ➡ 暖房
（ドライ ※2、自動 ※1、暖房 ※1）

※1　冷房専用機種は、自動と暖房設定はできません。
※2　室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

設定温度を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

室温を下げたいとき　F2　ボタン③を押す。
室温を上げたいとき　F3　ボタン④を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

▼　ボタン③を押す。
▲　ボタン④を押す。

● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 設定温度範囲は次の通りです。※2

冷房・ドライ運転※1	暖房運転	自動運転	送風
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

※1 ドライ運転を開始すると、自動的に最適な初期設定温度にセットされます。
※2 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。（設定温度範囲制限中は 🌡 が表示されます。）範囲を超えて設定しようとした場合、"設定温度制限中"が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

風速を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

ボタン⑤を押す。　F4

ワイヤレスリモコンの場合

風　速

●1回押すごとに設定が切換わります。

	風　速	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PL-ZRP・BA6形 PL-ERP・BA6形 PL-RP・BA6形 PC-RP・KA（L）6形 PM-(H)RP・FA6形 ※2	4段階 ＋ 自　動	（静粛）➡（弱）➡（中）➡（強）➡（自動）	（静粛）➡（弱）➡（中）➡（強）➡（自動）※1
PL-RP・JA6形	4段階	（静粛）➡（弱）➡（中）➡（強）	（静粛）➡（弱）➡（中）➡（強）
PC-RP・HA6形	2段階	（弱）➡（強）	（弱）➡（強）

※2 PM-(H)RP・FA6形にて、別売前吹出しグリルを使用し、二方向吹出し設定とした場合、風速は1段階となります。
風速表示は 🌀.ıl のみとなり操作できません。

※1 ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。
設定方法は風速自動設定方法（11ページ）を参照願います。

お　知　ら　せ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
● "暖房準備中"・"暖房霜取中"表示のとき
●暖房運転直後（モード切換待機中）
●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
●ドライモードのとき

風速自動設定方法

ワイヤレスリモコンの場合

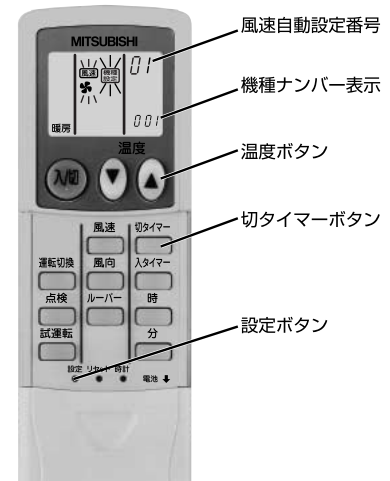
●PL-ZRP･BA6形、PL-ERP･BA6形、PL-RP･BA6形、PC-RP･KA（L）6形、
PM-（H）RP･FA6形には風速自動機能があります。
ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、本設定を行うことにより風速自動が選択可能になります。
（ワイヤードリモコンをご使用の場合には設定不要です。）

操作手順

1 設定ボタンを押します。（ボールペンなど先の細いもので押してください。）
リモコン表示が停止の状態から操作してください。
[機種設定] が点滅、機種ナンバー（3桁の数字）が点灯表示します。

2 [切タイマー] ボタンを押します。
[風速] が点滅表示し、風速自動設定番号が点灯表示します。（設定番号01:風速自動なし）

3 ▼、▲ 温度ボタンを押して設定番号を02に合わせます。（設定番号02:風速自動あり）
※操作を間違えた場合は、（入/切） ボタンを押し、**2** の操作からやり直してください。

4 設定ボタンを押します。（ボールペンなど先の細いもので押してください。）

上下風向を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

[F4] ボタンの長押し（1秒以上）操作または本操作により風向操作画面を表示させ、上下風向を設定します。

1 ボタン⑥を押す。

2 ボタン⑦を押す。
（「風向・ルーバー・換気操作」を選択している状態で）

3 ボタン②③を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

[風 向] ボタン⑥を押す。

● 1回押すごとに設定が切換わります。　注）角度は風向の目安です。（ベーン角度ではありません。）

	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PL-ZRP･BA6形 PL-ERP･BA6形 PL-RP･BA6形	※2 自動 ⇔ 設定1（水平30°） ⇔ 設定2（下吹35°） ⇔ 設定3（下吹45°） ⇔ 設定4（下吹55°） ⇔ 設定5（下吹60°） ⇔ ※1 スイング	※1 スイング → 設定1（水平30°） → 設定2（下吹40°） → 設定3（下吹50°） → 設定4（下吹60°）
PL-RP･JA6形	設定1（水平30°） ⇔ 設定2（下吹45°） ⇔ 設定3（下吹55°） ⇔ 設定4（下吹70°） ⇔ スイング	スイング → 設定1（水平30°） → 設定2（下吹45°） → 設定3（下吹55°） → 設定4（下吹70°）
PC-RP･KA(L)6形	暖房･送風：自動 ⇔ 設定1（水平10°） ⇔ 設定2（下吹20°） ⇔ 設定3（下吹30°） ⇔ 設定4（下吹45°） ⇔ 設定5（下吹60°） ⇔ スイング 冷房･ドライ：自動 ⇔ 設定1（水平10°） ⇔ 設定2（下吹20°） ⇔ 設定3（下吹30°） ⇔ 設定4（下吹40°） ⇔ 設定5（下吹50°） ⇔ スイング	暖房･送風：スイング → 設定1（水平10°） → 設定2（下吹30°） → 設定3（下吹45°） → 設定4（下吹60°） 冷房･ドライ：スイング → 設定1（水平10°） → 設定2（下吹25°） → 設定3（下吹40°） → 設定4（下吹50°）
PM-(H)RP･FA6形 ※3	自動 ⇔ 設定1（水平15°） ⇔ 設定2（下吹30°） ⇔ 設定3（下吹45°） ⇔ 設定4（下吹55°） ⇔ 設定5（下吹65°） ⇔ スイング	スイング → 設定1（水平15°） → 設定2（下吹40°） → 設定3（下吹55°） → 設定4（下吹65°）

※1 暖房時はウェーブ気流になります。
※2 自動時の上下風向はパネルによって異なります。（下記参照）

標準パネル	冷房・送風・ドライは設定1、暖房は設定5になります。
ムーブアイパネル	エリアムーブアイになります。エリアムーブアイは各吹出口のエリア毎に体感温度を演算し、風向を次のように制御します。 ■暖房時　エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなると全て下吹き（設定5）になります。 （図：水平／温度が低いエリア 下吹き／水平 温度が高いエリア／水平） ■冷房時　エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなると全て水平（設定1）になります。 （図：水平／温度が高いエリア 下吹き／水平 温度が低いエリア／水平）
人感 ムーブアイパネル	人感風向設定に従って、自動時の風向が次のようになります。設定方法は21、22ページを参照ください。 （省エネ自動モード設定の場合）冷房･送風･ドライは設定1、暖房は設定5になります。 （快適自動モード風よけ設定の場合）人を検知すると、暖房は設定5→設定1に変化します。冷房･ドライ･送風時は設定1のままです。 （快適自動モード風あて設定の場合）人を検知すると、冷房･ドライは設定1→スイング、送風は設定5に変化します。暖房は設定5のままです。 ※場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。 （エリアムーブアイ設定の場合）エリアムーブアイになります。（同上）

お知らせ	■エリアムーブアイ、人感ムーブアイの設定はワイヤレスリモコンでは行えません。

※3 別売前吹出しグリルを使用し、前吹出し設定とした場合、パネルの上下風向ベーンは閉じた状態で固定となります。風向は表示されません。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

● 上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	風　速	設　定					
暖房・送風	強・中・弱・静粛	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	(設定5)
冷　房	強・中						
	弱・静粛	スイング	設定1	設定2 ※	設定3 ※	設定4 ※	(設定5) ※
ドライ	設定不可			※ 1 時 間 設 定 有 効			
運転モードを変更した時の上下風向設定		――――	冷房・ドライ・送風運転	――――	――――	暖房運転	

※1時間経過すると自動的に水平吹出し（設定1）にもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）
● 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1
● 暖房モードにしたとき…………………設定4（設定5が存在するユニットは設定5になります）

お　知　ら　せ

■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
　●"暖房準備中"・"暖房霜取中"表示のとき
　●暖房運転直後（モード切換待機中）
　●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
■PL-ZRP・BA6形、PL-ERP・BA6形、PL-RP・BA6形の場合は、各吹出口毎に上下風向を固定することができます。10,11ページを参照して、操作してください。
なお、固定した上下風向はリモコンによる操作、及びすべての自動コントロールが無効になります。また、リモコンの液晶表示と異なる場合があります。
■PM-(H)RP・FA6形にて、別売前吹出しグリルを使用し、二方向吹出し設定とし、冷房時の上下風向ベーンを設定2〜設定5にした場合は、風速設定によらず1時間経過すると自動的に水平吹出し（設定1）にもどります。

【手動】上下風向を変えたいとき　※ ボタン⑥は使用できません。

PC-RP・HA6形

上下風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。
（ベーンは上向10°〜下向45°まで変えられます）
※冷房、ドライ運転時に下向きにしますと、吹出口周辺に結露し、滴下することがあります。その時は、風向を調節してください。
※冷温風が、火気や調理台、食材に直接あたり、調理に影響をおよぼす場合は、風向を調節してください。

⚠ 注　意　上下方向の風向調節は、据付時に調節したあとはなるべく操作しないでください。

⚠ 注　意　転倒しないよう足場をしっかりして操作してください。

上下風向角度の固定設定方法〈ワイヤードリモコンからのみ固定設定できます。〉

● PL-ZRP・BA6形、PL-ERP・BA6形、PL-RP・BA6形の場合、下記の設定で、特定の吹出口のみ、特定の風向角度に固定することができます。一度下記の設定を行なえば、以後エアコンを運転した際、設定された吹出口のみ風向固定角度となります。（その他の風向は、リモコンの風向設定角度にしたがいます。）

設 定 の 手 順

リモコンから室内ユニットの吹き出し口ベーンの固定設定が行えます。

【手順1】エアコンを『停止』にして、リモコンを『風向固定操作』画面にします。

1. メインメニュー画面で「メンテナンス」を選択し （決定） ボタンを押します。
2. メンテナンスメニュー画面から F1 ボタン②、F2 ボタン③により「風向固定操作」を選択し （決定） ボタンを押します。

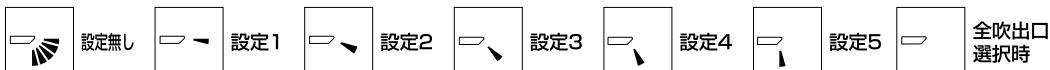
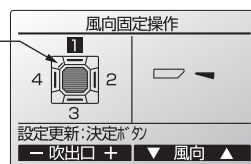
【手順2】設定したい「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。

1. F1 ボタン②で「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。
   F2 ボタン③, F3 ボタン④により設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し （決定） ボタン押します。
   ・冷媒アドレス：0〜15
   ・号機：1／2／3／4
   ※接続されている冷媒アドレス，号機のみ選択できます。

お　知　ら　せ

●設定ユニットを確認したい場合、上記１の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し F4 ボタン⑤を操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は **確 認 の 手 順** を参照願います。

【手順3】現在の設定内容が表示されます。

1. 現在の設定内容が表示されます。
   F1 ボタン②, F2 ボタン③で「吹出口」を選択します。
   選択した「吹出口」の現在の固定設定状態が下図のように表示されます。

MITSUBISHIマーク

風向固定操作　1　4　2　3　設定更新:決定ボタン　ー吹出口＋　▼風向▲

設定無し

設定1

設定2

設定3　設定4　設定5　全吹出口選択時

【手順4】風向を設定します。

1 設定したい「吹出口」,「風向」を設定します。
F1 ボタン②, F2 ボタン③で固定したい「吹出口」を選択します。
・吹出口：1，2，3，4，全て（1～4全て反転表示）
F3 ボタン④, F4 ボタン⑤で設定したい「風向」を選択します。
選択し終わったら 決定 ボタンを押します。設定中画面が表示されます。

お知らせ

●「吹出口」は［MITSUBISHI］ロゴマークのコーナーパネル標準取り付け位置を基準に表しています。
●選択している「吹出口」に対して設定を行います。
各吹出口を別々の風向で設定したい場合は、吹出口ごとに設定を行ってください。

【手順5】各「吹出口」の「風向」を設定します。

1【手順4】を参考に、各吹出口の設定を行います。
2 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順3】の画面で 戻る ボタンを押して【手順2】の画面に戻し、【手順2】～【手順4】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

【手順6】風向固定操作の終了

1【手順2】にて 戻る ボタンを押してメンテナンスメニュー画面に戻ります。
2 メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施（約30秒）後、メインメニューに戻ります。

【固定内容のクリア方法】
●上記【手順4】の操作にてクリアしたい「吹出口」を選択して、風向設定で「設定無し」 を設定してください。

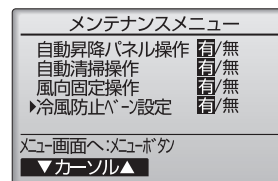
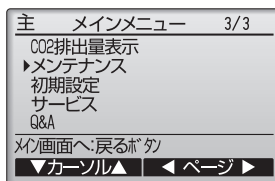
冷風防止ベーン設定方法〈ワイヤードリモコンからのみ設定ができます。〉

● PL-ZRP･BA6形､PL-ERP･BA6形､PL-RP･BA6形の場合、下記の設定でベーン設定角度を標準位置よりも高めに設定し、水平吹き出しによる冷房時のドラフト感を抑えることができます。

⚠ 注　意	冷風防止ベーン設定をした場合、吹出した空気により天井が汚れる場合があります。

設 定 の 手 順

【手順１】エアコンを『停止』にして、リモコンを『冷風防止ベーン設定』画面にします。

1 メインメニュー画面で「メンテナンス」を選択し 決定 ボタンを押します。
2 メンテナンスメニュー画面から F1 ボタン②, F2 ボタン③により「冷風防止ベーン設定」を選択し 決定 ボタンを押します。

【手順2】設定したい「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。

1 F1 ボタン②で「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。
F2 ボタン③, F3 ボタン④により設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し 決定 ボタンを押します。
・冷媒アドレス：0～15
・号機：1／2／3／4
※接続されている冷媒アドレス，号機のみ選択できます。

冷風防止ベーン設定
▸冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4
対象ユニットの確認は確認ボタン操作
設定・モニタへ:決定ボタン
▼カーソル　－アドレス＋　確認

お知らせ

●設定ユニットを確認したい場合、上記1の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し F4 ボタン⑤を操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は 確認の手順 を参照願います。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

【手順3】現在の設定内容が表示されます。

1 【手順2】で指定した室内ユニットの現在の設定内容が表示されます。

・冷風防止設定：OFF（標準設定）／ON（冷風防止設定）

冷風防止ベーン設定
冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4
▶冷風防止設定 OFF/ON
設定更新：決定ボタン
▼カーソル ◀カーソル▶

【手順4】冷風防止を設定します。

1 F2 ボタン③, F3 ボタン④により「冷風防止設定」を設定し 決定 ボタンを押します。

冷風防止ベーン設定
冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4
冷風防止設定 OFF/ON
設定中

お　知　ら　せ

● 「冷媒アドレス」、「号機」を変更すると【手順2】にもどります。

【手順5】他の室内ユニットへの設定

1 【手順4】を参考に、各室内ユニットの設定を行います。

2 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順4】の画面で「冷媒アドレス」、「号機」を変更して【手順2】の画面に戻し、【手順2】～【手順4】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

【手順6】冷風防止ベーン設定の終了

1 【手順2】にて 戻る ボタンを押してメンテナンスメニュー画面に戻ります。

2 メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施（約30秒）後、メインメニューに戻ります。

確　認　の　手　順

【手順1】最初に「冷媒アドレス」＝0,「号機」＝1から確認します。

1 F1 ボタン②で「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。
F2 ボタン③, F3 ボタン④により確認する「冷媒アドレス」「号機」を設定し F4 ボタン⑤を押します。
・冷媒アドレス：0～15
・号機：1／2／3／4
※接続されている冷媒アドレス，号機のみ選択できます。

風向固定操作
▶冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4
対象ユニットの確認は確認ボタン操作
風向設定モニタへ：決定ボタン
▼カーソル －アドレス＋ 確認

2 F4 ボタン⑤操作後、約15秒お待ちください。……エアコンの状態は？
→吹き出し口が下吹きになる。→「冷媒アドレス」＝0,「号機」＝1のエアコンです。
→全ての吹き出し口が塞がる。→【手順2】へ

3 戻る ボタンを押して、1 の画面に戻します。

風向固定操作
▶冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4
ベーン下吹きの空調機が
対象空調機になります
前の画面へ：戻るボタン

【手順2】「号機」を順次変更して確認します。

1 F1 ボタン②で「号機」を選択します。
F2 ボタン③, F3 ボタン④により確認する「号機」を変更し F4 ボタン⑤を押します。

2 F4 ボタン⑤操作後、約15秒お待ちください。……エアコンの状態は？
→吹き出し口が下吹きになる。→リモコンに表示されているエアコンです。
→全ての吹き出し口が塞がる。→ 戻る ボタンを押して、1 からの操作を続けます。
→右記、メッセージ画面が表示される。→この冷媒アドレスの中に、対象号機が存在しません。
【手順3】へ

風向固定操作
対象号機からの応答がありません
空調機の状態を確認してください
前の画面へ：戻るボタン

3 戻る ボタンを押して、【手順1】1 の画面に戻します。

【手順3】「冷媒アドレス」を次の番号に変更して確認します。

1 【手順1】の操作を参考に冷媒アドレスを変更して確認を続けます。

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

【手動】左右風向を変えたいとき

PL-ZRP・BA6形　PL-ERP・BA6形　PL-RP・BA6形　PL-RP・JA6形

左右風向ベーンを搭載していませんので風向調節できません。

PM-(H)RP・FA6形

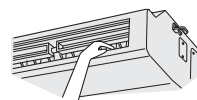
左右風向ベーンは別売部品となります。

PC-RP・KA(L)6形

●運転を停止し、上下風向ベーンの右端を持って水平に動かしてください。
●左右風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。

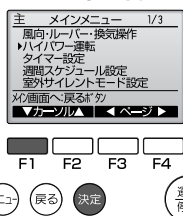
PC-RP・HA6形

●運転を停止し、上下風向ベーンを水平にして作業してください。但し、吹出口左右両端のベーンは固定されており動きませんので注意してください。

●左右風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。
（ベーンは左右、各々約45゜まで変えられます）
※冷温風が、火気や調理台、食材に直接あたり、調理に影響をおよぼす場合は、風向を調節してください。

⚠ 注　意　転倒しないよう足場をしっかりして操作してください。

ハイパワー運転を行うとき（ワイヤードリモコンの場合）

1 ボタン⑥を押す。

2 ボタン②を押す。ボタン⑦を押す。

3 ボタン⑤を押す。ボタン⑦を押す。

●運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
●ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
●運転モード切換、風速切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
●室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きくなることがあります。

お　知　ら　せ

■ハイパワー運転は、ワイヤレスリモコンでは行えません。
■室外ユニットタイプによりハイパワー運転できない場合があります。

運転を停止するとき

1 ボタン①を押す。

ワイヤードリモコンの場合

ワイヤレスリモコンの場合

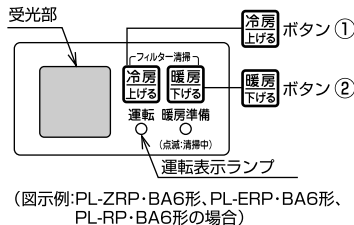
⚠ 注　意　運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

● 運転のしかた　応急運転のしかた　ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、室内ユニットの受光部付近の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転を開始したいとき

●冷房運転……［冷房上げる］ボタン①を押す。
●暖房運転……［暖房下げる］ボタン②を押す。
※PL-ZRP・BA6形、PL-ERP・BA6形、PL-RP・BA6形、PC-RP・KA(L)6形、PM-(H)RP・FA6形の場合には2秒以上ボタンを押し続けて下さい。
※運転表示ランプの点灯で運転開始をお知らせします。

（図示例:PL-ZRP・BA6形、PL-ERP・BA6形、PL-RP・BA6形の場合）

※応急運転時の運転内容は下記になります。

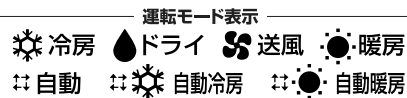
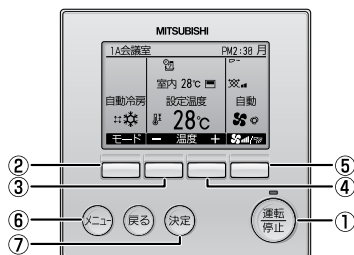
運転モード	冷　房	暖　房
設定温度	24℃	24℃
風　速	強	強
風　向	設定1	設定4※1

※1 設定5が存在するユニットは設定5になります。

運転を停止したいとき

●［冷房上げる］ボタン①または［暖房下げる］ボタン②どちらかを押す。

● 運転のしかた 自動運転、換気運転のしかた

運転モード表示
冷房 ドライ 送風 暖房
自動 自動冷房 自動暖房

自動運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

F1 表示を 自動 にする。

ワイヤレスリモコンの場合

運転切換 表示を 自 動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。（17ページ参照）

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示：しない」に設定変更されている場合には、"冷房"、"暖房"は表示されません。([自動]の表示のみ)
（リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照してください。）

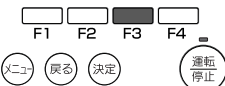
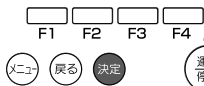
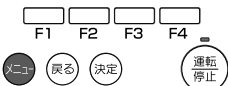
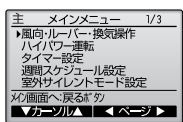
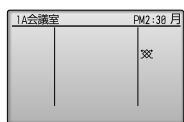
換気運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき 運転停止 ボタン①を押す。

●室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

●換気装置を単独で運転するとき

1 ボタン⑥を押す。　**2** ボタン⑦を押す。（「風向・ルーバー・換気操作」を選択している状態で）　**3** ボタン④を押す。

●換気運転の風速を変えたいとき

F3 ボタン④を押す。

お知らせ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。
- 換気装置の単独運転はできません。

● 運転のしかた その他の表示・点滅について

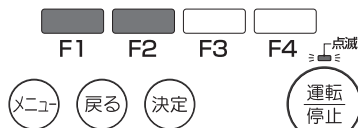
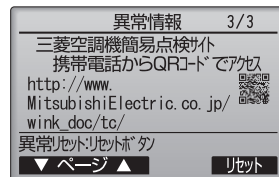
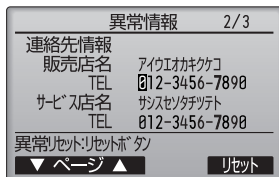
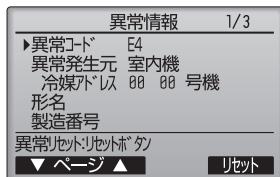
●「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

異常情報 1/3
▶異常コード E4
異常発生元 室内機
冷媒アドレス 00 00 号機
形名
製造番号
異常リセット:リセットボタン
▼ ページ ▲ リセット

異常情報 2/3
連絡先情報
販売店名 アイウエオカキクケコ
TEL 012-3456-7890
サービス店名 サシスセソタチツテト
TEL 012-3456-7890
異常リセット:リセットボタン
▼ ページ ▲ リセット

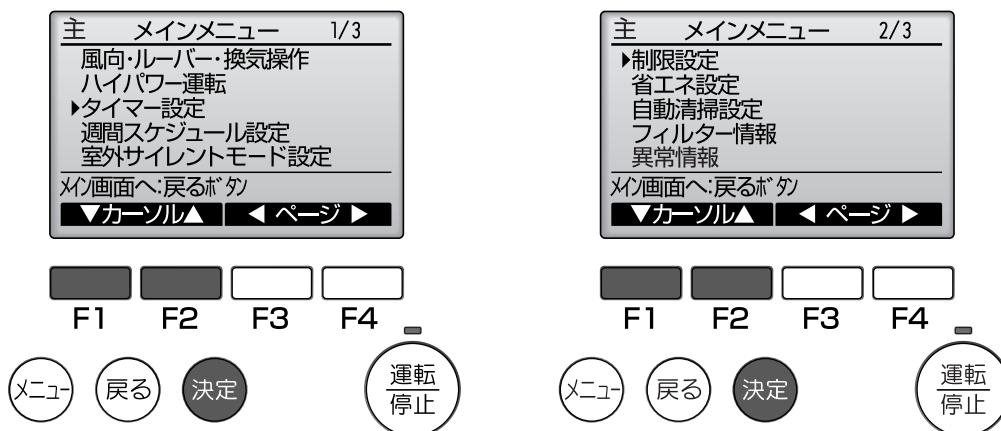
異常情報 3/3
三菱空調機簡易点検サイト
携帯電話からQRコードでアクセス
http://www.
MitsubishiElectric.co.jp/
wink_doc/tc/
異常リセット:リセットボタン
▼ ページ ▲ リセット

異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コードと URL が表示されます。

タイマー、スケジュール、静音、省エネ運転のしかた（ワイヤードリモコンの場合）

ワイヤードリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、室外サイレントモード運転（静音運転）、省エネ運転の設定ができます。
ワイヤードリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、 F1 F2 ボタンで設定したい項目を選択します。詳細設定方法は、ワイヤードリモコンの取扱説明書をご確認ください。

タイマー運転

■オン／オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転／停止時刻と設定温度が設定できます。
1日最大8パターンの設定ができます。

室外サイレントモード運転※

室外ユニットの静音性を優先した運転を行います。
1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
室外ユニットの静音レベルは「標準」「中」「静」から選択できます。
サイレントモード中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合はサイレントモードを解除してください。

標準　中　静

※室外ユニットタイプにより設定できない場合があります。

省エネ運転

■設定温度自動復帰
設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

■省エネ運転スケジュール
1週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。
1日最大4パターンの設定ができます。
設定時刻は5分単位で設定できます。
能力セーブ値は10%単位で90%から50%の範囲と0%で設定できます。

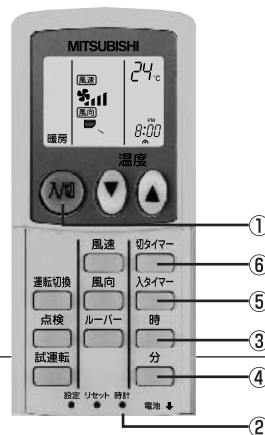
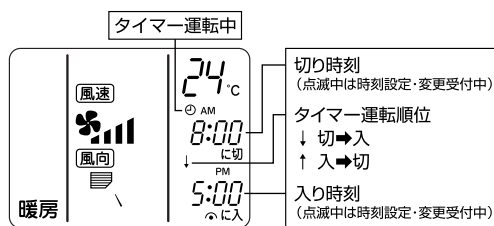
タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。「タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）」の項をご確認ください。
週間スケジュール運転、室外サイレントモード運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

● 運転のしかた　タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。
- ● 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う。
- ● 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う。
- ● 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー運転中
風速
風向
暖房
AM 8:00 に切
PM 5:00 に入
切り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）
タイマー運転順位
↓ 切➡入
↑ 入➡切
入り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）

現在時刻の設定を行うとき

1 （入/切）**ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 **時計ボタン②を押す。** 現在時刻が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、現在時刻を合わせる。**（電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。）

4 **時計ボタン②をもう1回押す。** 現在時刻が点灯します。（現在時刻合わせの設定完了です。）
■設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 **2** からやり直してください。

入りタイマー運転を行うとき

1 （入/切）**ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 入タイマー **ボタン⑤を押す。** 現在時刻が消灯し、入り時刻と ◷ が点灯します。“に入” 表示が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、入り時刻を合わせる。**
- ● 入タイマー時刻設定後 “に入” 表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
- ● エアコンの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。

■設定中に “に入” 表示が点滅から点灯に変わった時には 入タイマー ボタン⑤を押した後、手順 **2** からやり直してください。

切りタイマー運転を行うとき

1 （入/切）**ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 切タイマー **ボタン⑥を押す。** 現在時刻が消灯し、切り時刻と ◷ が点灯します。“に切” 表示が点滅します。

3 時 **ボタン③・** 分 **ボタン④を押し、切り時刻を合わせる。**
●切タイマー時刻設定後 “に切” 表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
■設定中に “に切” 表示が点滅から点灯に変わった時には 切タイマー ボタン⑥を押した後、手順 **2** からやり直してください。

入⇄切タイマー運転を行うとき

1 **入タイマー・切タイマー両方の設定をする。**
● ↑ ↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
↑は、停止 ➡ 運転（入り時刻）➡ 停止（切り時刻）
↓は、運転 ➡ 停止（切り時刻）➡ 運転（入り時刻）を表します。

タイマー運転を解除するとき

入タイマー運転を解除するとき 入タイマー **ボタン⑤を押す。** ● 入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。

切タイマー運転を解除するとき 切タイマー **ボタン⑥を押す。** ● 切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。

入⇄切タイマー運転を解除するとき 入タイマー **ボタン⑤と** 切タイマー **ボタン⑥を押す。** ●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。

タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき （入/切）**ボタン①を押す。** ●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お　知　ら　せ

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

CO_2排出量表示のしかた

エアコンが運転中に排出したCO_2排出量を表示します。
また、CO_2排出量の目標値を設定することにより省エネ度を表示することができます。

CO_2排出量表示　初期設定方法

CO_2排出量表示に関する設定を行います。※従リモコンでは設定ができません。

設定の手順

1．初期設定メニュー

1 メインメニュー画面で「初期設定」を選択し、（決定）ボタンを押します。

2 初期設定メニュー画面（2/2）で、「CO_2表示設定」を選択し、（決定）ボタンを押します。

3 F1、F2 ボタンで設定する項目を選択して F3、F4 ボタンで変更します。

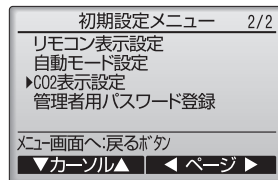
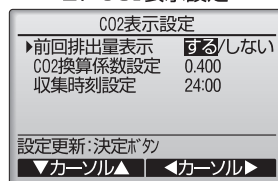
2．CO_2表示設定

CO2表示設定
▶前回排出量表示　する/しない
CO2換算係数設定　0.400
収集時刻設定　24:00
設定更新:決定ボタン
▼カーソル▲　◀カーソル▶
F1　F2　F3　F4

■前回排出量表示
停止操作を行った際に「前回排出量表示」を表示するかを設定します。（出荷時設定：表示する）
表示しないようにするには、「しない」を選択します。

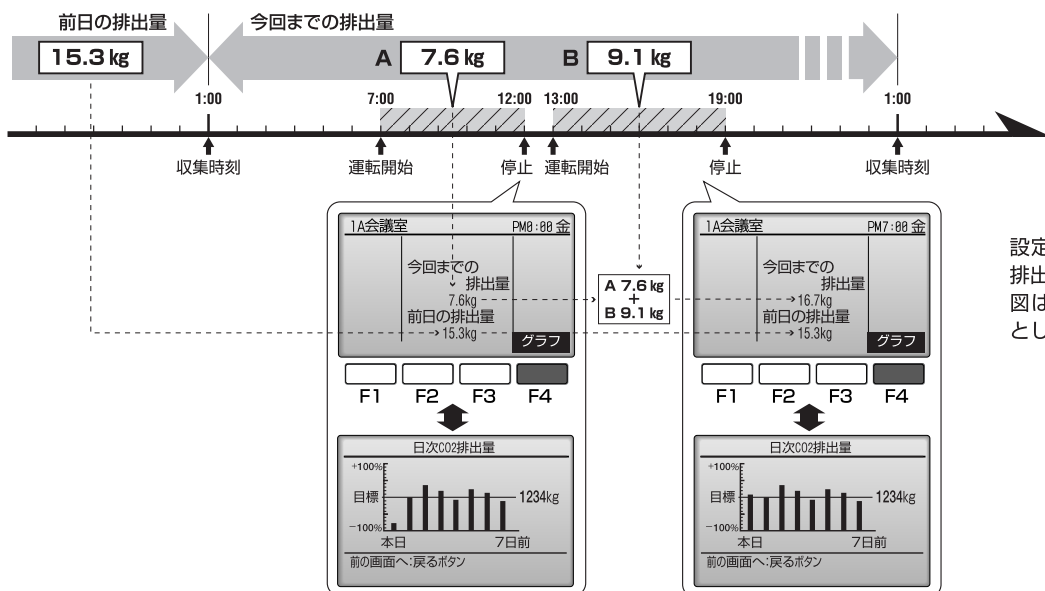
■ CO_2換算係数設定
CO_2排出量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出しています。
1kWhあたりのCO_2換算係数（kg）を設定します。
設定範囲：0.000～0.999（出荷時設定：0.400※）
※ CO_2換算係数 0.4 kg－ CO_2/kWh

■収集時刻設定
一日のCO_2排出量を収集する時刻を設定します。
設定範囲：1:00～24:00（出荷時設定：24:00）
※夜間などエアコンの電源を切る場合は収集時刻を変更してください。（停電している場合、データを収集することができません。）

4 設定完了後、（決定）ボタンを押します。

CO_2排出量表示（前回排出量表示）

ワイヤードリモコンにて停止操作を行った際に本日のCO_2排出量を表示します。

■ CO_2排出量は停止後３分間表示されます。ただし、他のメニュー画面に切り換えた時点で表示は消えます。
再表示するためには、（決定）ボタンを３秒以上長押ししてください。
■ CO_2排出量表示画面にて F4 ボタンを押すと、本日から８日分の省エネ度をグラフ表示します。
（（戻る）ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。）
■目標CO_2排出量設定は20ページを参照してください。
■ 10分以上運転した場合にのみ表示します。
■ CO_2排出量は小数点第２位を繰上げして表示します。
■空調負荷が小さいとき、運転時間が短いときなど、CO_2排出量が0.01 kg未満の場合は、0.0 kg表示となります。
■従リモコンでは表示されません。
■ワイヤードリモコン以外からの停止操作では表示されません。
■表示させないようにするには、設定の手順 **3** に従って設定を変更してください。出荷時は「表示する」設定です。

CO_2排出量表示例

設定しました範囲内のCO_2排出量を積算し表示します。図は収集時刻設定を1:00としています。

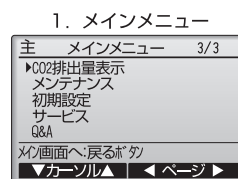
● 運転のしかた CO_2排出量表示のしかた

日次／月次データ表示方法

過去の日次／月次データを表示することができます。

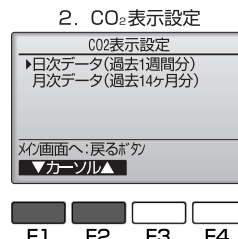
表示手順

1 メインメニュー画面（3/3）で「CO_2排出量表示」を選択し、
(決定) ボタンを押します。

1．メインメニュー

2 F1 、F2 ボタンで「日次データ」「月次データ」を選択し、
(決定) ボタンを押します。

2．CO_2表示設定

CO2表示設定
▶日次データ(過去1週間分)
月次データ(過去14ヶ月分)
ﾒｲﾝ画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲

F1　F2　F3　F4

■日次データ
・一覧表示
本日から８日分のCO_2排出量と省エネ度（目標CO_2排出量に対する達成度）を表示できます。
ページを切り換える場合は F4 ボタンを押してください。
※正常に収集できなかった場合"----.-kg"が表示されます。
※収集時刻に電源を切っていた場合など、該当日のデータが表示されません。
このような場合、次回収集の際に今までの排出量が加算されます。
・グラフ表示
一覧表示画面にて F1 ボタンを押すと、本日から８日分の省エネ度をグラフ表示します。

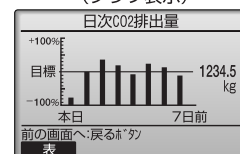
日次データ（一覧表示）

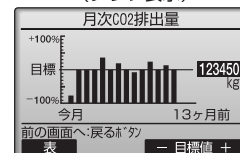
日次CO2排出量　1/2
年/月/日　CO2排出量　省ｴﾈ度
本日　9999.9kg　+100%
10/12/ 3　9999.9kg　+100%
10/12/ 2　9999.9kg　+100%
10/12/ 1　9999.9kg　+100%
ﾍﾟｰｼﾞ切換:ﾍﾟｰｼﾞﾎﾞﾀﾝ
グラフ　ページ

F1　F2　F3　F4

（グラフ表示）

日次CO2排出量
+100%　目標　-100%　1234.5 kg
本日　7日前
前の画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ
表

F1　F2　F3　F4

■月次データ
・一覧表示
当月から14ヶ月分のCO_2排出量と省エネ度（目標CO_2排出量に対する達成度）を表示できます。
ページを切り換える場合は F3 、F4 ボタンを押してください。
※当月データは前日までの積算値を表示します。
※一ヶ月間電源を切っていた場合などは、該当月のデータが表示されません。
・グラフ表示
一覧表示画面にて F1 ボタンを押すと、当月から14ヶ月分の省エネ度をグラフ表示できます。

月次データ（一覧表示）　（グラフ表示）

目標CO_2排出量設定方法

省エネ度を表示するための目標CO_2排出量の設定を行います。

設定の手順

1 月次CO_2排出量の一覧表示画面にて、F1 ボタンを押します。
※月次CO_2排出量の一覧表示画面への操作方法は上記参照

2 月次CO_2排出量のグラフ表示画面にて、F3 、F4 ボタンを押し、目標CO_2排出量を設定します（10kg単位）。
※目標CO_2排出量の設定は月次データからのみ設定可能です。日次の目標CO_2排出量は月次の目標CO_2排出量を31分の1に演算された値となります。

お知らせ

●CO_2排出量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出した目安であり、実際の消費電力量から算出される値とは異なる場合があります。
●電気集じん器などの別売部品のCO_2排出量は含まれません。
●室外ユニットタイプにより表示できない場合があります。
●1つのリモコンで複数のエアコン（複数冷媒系統）を制御している場合、リモコンに接続されている全冷媒系統のCO_2排出量の合計が表示されます。室内ユニット毎、冷媒系統毎のCO_2排出量は、表示できません。
●「初回」または「目標CO_2排出量0kg設定」の場合には、電源投入時に目標CO_2排出量の仮の値が自動的に設定されます。
※仮の目標CO_2排出量は、使用環境や使用状況により実際の目標CO_2排出量とは一致しない場合があります。
●当日分のCO_2排出量は停止操作時に算出されます。
運転中のCO_2排出量はリアルタイムに表示できません。

● 運転のしかた 人感ムーブアイ設定のしかた（PL-ZRP・BA6形の場合）

人感ムーブアイパネル機種の場合の各種設定方法を表示します。

人感ムーブアイ設定画面への移動方法

1 メインメニュー画面で「メンテナンス」を選択し、決定 ボタンを押します。

2 F1 、F2 ボタンで、「人感ムーブアイ設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

※「無」と表示されているときは、この機能に対応している室内ユニットが接続されていないため設定できません。

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニュー	
自動昇降パネル操作	有/無
自動清掃操作	有/無
風向固定操作	有/無
冷風防止ﾍﾞｰﾝ設定	有/無
▸人感ムーブアイ設定	有/無
ﾒﾆｭｰ画面へ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ	
▼カーソル▲	

お知らせ

●人感ムーブアイパネル機種でも「無」と表示されているときは、正常に据付けられていない可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

※標準ムーブアイパネルの場合は「無」と表示されます。

3 F1 、F2 ボタンで設定する項目を選択し、決定 ボタンを押します。

■人感風向設定

風向制御方法を選択します。（出荷時設定：省エネ自動モード）

省エネ自動モード／快適自動モード／エリアムーブアイ

■人感不在制御設定

人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。

不在省エネモード／在室率省エネモード（出荷時設定:共にOFF）

人感ムーブアイ設定

人感ムーブアイ設定
▸人感風向設定
人感不在制御設定
設定画面へ:決定ﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲

人感風向設定のしかた

1 F1 ボタンで「冷媒アドレス」「号機」を選択します。

2 F2 、F3 ボタンで人感風向制御を設定するユニットの冷媒アドレスと号機を設定し、決定 ボタンを押します。

人感風向設定

人感風向設定	
▸冷媒アドレス	0
号機	1/2/3/4
対象ﾕﾆｯﾄの確認は確認ﾎﾞﾀﾝ操作	
設定・ﾓﾆﾀへ:決定ﾎﾞﾀﾝ	
▼ｶｰｿﾙ　－アドレス＋　確認	

お知らせ

●設定ユニットを確認したい場合、上記の手順で「冷媒アドレス」「号機」を選択し、F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。

詳細は14ページの 確認の手順 を参照願います。

3 F1 ボタンで「冷媒アドレス」「号機」「風向自動制御」を選択します。

4 F2 、F3 ボタンで人感自動制御を設定する冷媒アドレスと号機、風向自動制御を設定し 決定 ボタンを押します。

各設定は下記モードに対応します。詳細は5ページを参照してください。

省エネ：省エネ自動モード

ムラ無：エリアムーブアイ

快　適：快適自動モード

人感風向設定

人感風向設定	
冷媒アドレス	0
号機	1/2/3/4/全て
▸風向自動制御	省ｴﾈ/ﾑﾗ無/快適
快適風向設定	
設定更新:決定ﾎﾞﾀﾝ	
▼ｶｰｿﾙ　◀ カーソル ▶	

お知らせ

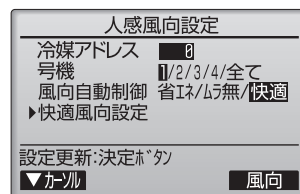
●次のようなときには、人感ムーブアイが人を検知しにくい場合があり、その際は、人がいてもベーンが反応しないことがあります。

・真夏など、室内の床,壁温度が高く、人体との温度差が少ないとき

・厚着をして肌が表れていないとき　・検知範囲内にいないとき

・間に棚などの障害物があるとき　・温度変化が大きい発熱体があるとき

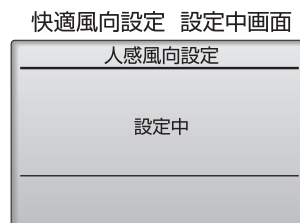
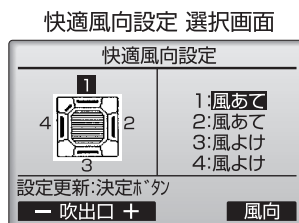
5 快適自動モードを設定する場合は、快適風向設定を選択し、
F4 ボタンで快適風向設定画面に切り替えます。

人感風向設定
冷媒アドレス 0
号機 1/2/3/4/全て
風向自動制御 省ｴﾈ/ﾑﾗ無/快適
▶快適風向設定
設定更新:決定ﾎﾞﾀﾝ
▼ｶｰｿﾙ 風向

6 F1 、F2 ボタンで吹き出し口を選択してから、F4 ボタンで
風向を設定し、決定 ボタンを押します。
決定 ボタンを押すと、画面に「設定中」と表示されます。
設定が終われば元の画面に戻り 決定 。

※場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、
「風あて」でも風があたらない場合があります。

快適風向設定 選択画面

快適風向設定 設定中画面

人感風向設定
設定中

お 知 ら せ

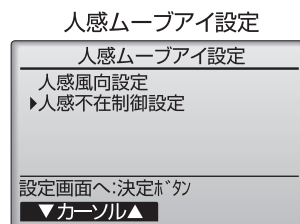
●リモコン表示画面のベーン1が、対応する室内機でスイングしているベーンです。ベーン1を基準にベーン2～4を設定してください。

人感不在制御設定のしかた

人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。
不在制御（不在省エネモード）：60分連続で人を検知しなかった場合、2℃分能力セーブした運転をします。
在室率制御（在室率省エネモード）：検知した最大人数に対する、現在いる人数の割合で最大1℃分能力セーブした運転をします。

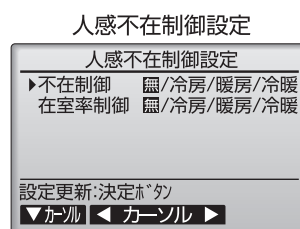
1 F1 、F2 ボタンで人感不在制御設定を選択し、決定 ボタンを押します。

人感ムーブアイ設定

人感ムーブアイ設定
人感風向設定
▶人感不在制御設定
設定画面へ:決定ﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲

2 F1 ボタンで「不在制御」または「在室率制御」を選択します。
F2 、F3 ボタンで無／冷房／暖房／冷暖を設定し、決定 ボタンを押します。

各設定は下記モードに対応します。
無 ：省エネ制御無効
冷房：冷房時のみ省エネ制御有効
暖房：暖房時のみ省エネ制御有効
冷暖：冷房／暖房時に省エネ制御有効

人感不在制御設定

人感不在制御設定
▶不在制御 無/冷房/暖房/冷暖
在室率制御 無/冷房/暖房/冷暖
設定更新:決定ﾎﾞﾀﾝ
▼ｶｰｿﾙ ◀ カーソル ▶

お 知 ら せ

●上記制御において能力セーブ中の間も、リモコンの設定温度は変更されません。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。その間ワイヤードリモコンには"暖房準備中"と表示されます。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
■風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
■風が出ない：ワイヤードリモコンに"暖房霜取中"表示中は風を出しません。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯〈橙〉が点灯します。）
■運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

ウェーブ気流（暖房時）とは

■各風向ベーンが時間差で順次、水平から下吹きまたは下吹きから水平へ動き、室内の空気を撹拌し、室温のムラを抑えます。
※PL−ZRP・BA6形、PL−ERP・BA6形、PL−RP・BA6形の場合

ミスタースリムの使用温度範囲

		室　内	天井内※1	室　外※2
冷房・ドライ	乾球温度	19℃〜32℃	〜30℃	−5℃〜43℃
	湿球温度	15℃〜23℃	〜RH80%	——
暖　房	乾球温度	17℃〜28℃	——	−11℃〜21℃
	湿球温度	——	——	−12℃〜15℃

※1 天吊形などの露出タイプは除く。
※2 室外ユニットにより表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等でご確認ください。

暖房霜取中とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

● 運転のしかた 上手な使い方

上手な使い方−"ミスタースリム"を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

■冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
■冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
■たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

■冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
■出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

■長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
■特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

■フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
また、露付・露たれの原因にもなります。
■ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（20ページ）

中間期にはドライ運転を

■ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60〜70%、冬では55〜70%程度といわれています。
■ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

■冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
■暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

ときどき換気を

■長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
■送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
■冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社"ロスナイ換気扇"を利用しますとムダのない換気ができます。

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな？ A お答えします（故障ではありません）

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
- フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです）
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。
  室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
- 窓やドアが開いていませんか？
- 圧縮機の予熱中です。外気温度が－20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で4時間運転できない場合があります。
  （※PUZ-HRP80～160形の場合）

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。

A
- 充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。

A
- 冷房運転中、下吹出し（水平吹出し）で使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出し（下吹出し）になります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
- 暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。

Q 風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。

A
- 風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A
- エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A
- 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A
- エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
- 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
- 霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水が出る

A
- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
- 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A
- 約3分間お待ちください。
  （エアコンを保護するため、止まっています）

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A
- 入タイマー運転をしていませんか？
  運転・停止ボタンを押して停止してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？
  運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- の表示が点灯していませんか？
  運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- 停電自動復帰を設定していませんか？
  運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A
- 切タイマー運転をしていませんか？
  運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？
  停止を指示したところへ連絡・確認してください。
- の表示が点灯していませんか？
  停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A
- タイマー設定が無効となっていませんか？
  タイマー設定がセット可能なときは、、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンに“Please Wait”の表示が出る。

A
- 初期設定（約3分）を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A
- 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
  ※自分では絶対に修理しないでください。
  エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A
- 冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A
- 室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3～7dB	6～10dB	9～13dB

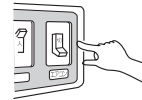
Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A
- 乾電池が消耗しています。
  乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
  ※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、
  乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯（緑）が点滅する。

A
- 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
  ※自分では、絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

お手入れのしかた

お手入れのまえに　■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。
■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
　また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

⚠ 注　意	必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠ 注　意	フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

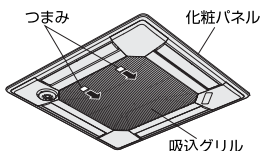
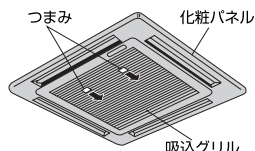
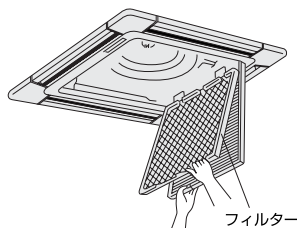
⚠ 注　意	フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

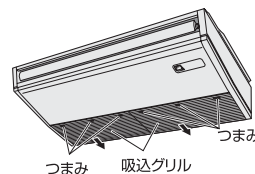
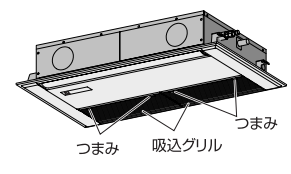
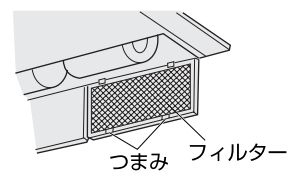
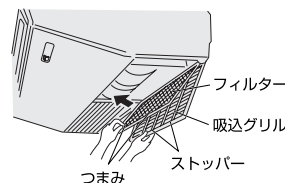
⚠ 注　意	長く運転していますと、フィルターから油が垂れる恐れがありますので必ず、その前にフィルターエレメントの交換及び枠の洗浄をしてください。（PC-RP･HA6形）

1 フィルターを取外す。

PL-ZRP･BA6形　PL-ERP･BA6形　PL-RP･BA6形　PL-RP･JA6形

① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。

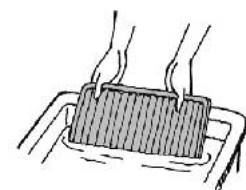
PL-ZRP･BA6形
PL-ERP･BA6形
PL-RP･BA6形

② 吸込グリル端面中央のツマミ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。

PC-RP･KA（L）6形　PM-（H）RP･FA6形

① 吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドさせ、吸込グリルを開いてください。

PM -（H）RP･FA6形

② フィルターのつまみを指でつまんで矢印方向に引き上げて外してください。また、フィルター清掃後、フィルターを取付ける時は、グリルのストッパーにフィルターを確実に押込んでください。

2 フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

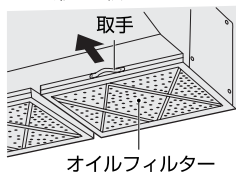
■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。

4 フィルターを元の状態に取付ける。
（取外しの逆の手順）

お手入れのしかた

オイルフィルターの清掃

1 オイルフィルターを取外す。

80形→3枚
140形→4枚

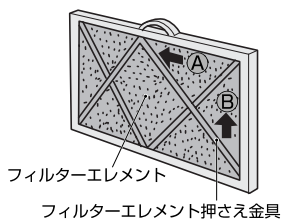
① オイルフィルターを矢印の方向にスライドさせて取外してください。

2 フィルターエレメントの交換。

① オイルフィルターを矢印の方向にスライドさせて取外してください。

② フィルターエレメント押さえ金具（2本）を次の要領で取外してください。
Ⓐ側（内側）にたわませてから、Ⓑの方向にスライドさせて、取外してください。

③ フィルターエレメント（使い捨て）を交換してください。別売形名:PAC-SG38KF（12枚入）
※フィルターエレメントは枠の内側に確実に収めてください。

④ フィルターエレメント押さえ金具を元通りに取付けてください。

⑤ 本体への取付けは、フィルターエレメント押さえ金具側を必ず下にしてください。

3 オイルフィルター枠の清掃。

〈用意していただくもの〉

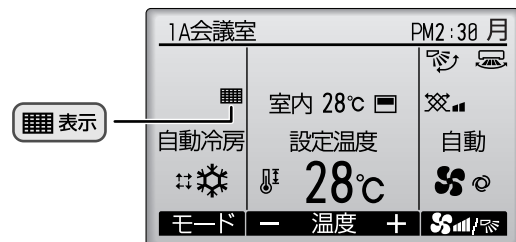
●ゴム手袋などの保護具。
●たわしまたはブラシ。
※金属系のたわし、ブラシはアルミ部材を傷付けたり破損させる恐れがありますので避けてください。
●家庭用中性または弱アルカリ性洗剤。（食器または洗濯用）
※アルカリ性洗剤で洗浄するとアルミ部分が変色する恐れがあります。

〈オイルフィルター枠の洗浄〉

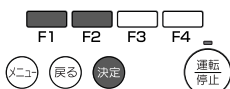
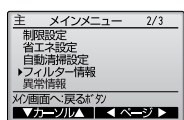
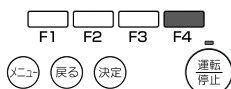
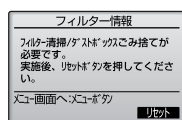
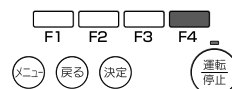
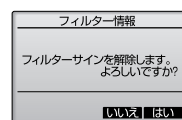
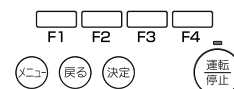
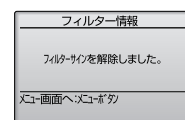
※フィルターエレメントを取外した状態で洗浄してください。
①汚れが少ない場合。
〈1週間（約100時間）に1回程度洗う場合〉
■上記洗剤を使用し、たわし、ブラシ等で水洗いしてください。（ぬるま湯で洗うと更に効果的です。）
②汚れがひどい場合。
■50℃以下のお湯に上記洗剤を入れ（10倍程度に薄める）、フィルターを1時間以上浸け置きしてから洗ってください。
※やけどしないようにお湯が冷めてから洗ってください。

フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は ▦ 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）
■フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PL-ZRP･BA6形 PL-ERP･BA6形 PL-RP･BA6形	2500時間
PL-RP･JA6形	2500時間
PC-RP･KA（L）6形	2500時間
PM-(H)RP･FA6形	2500時間
PC-RP･HA6形	※100時間

※PC-RP･HA6形はフィルター点検の目安です。フィルターの交換時期は環境により異なります。1週間（100時間）ごとに点検し、油滴が滴下する前に、あるいは目詰まりを起こす前に早めに交換してください。（フィルターは使い捨てです。）
※PL-ZRP･BA6形、PL-ERP･BA6形、PL-RP･BA6形にフィルター自動清掃ユニットを取付けている場合のフィルター清掃時期はフィルター清掃ユニットの取扱説明書をご覧ください。

表示をリセットする

1『フィルター情報』を表示します。

2 F4 ボタン⑤を押す。

3 F4 ボタン⑤を押す。

4 完了画面が表示されます。

■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます〈ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間〉。
表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
■運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

2 エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が−20℃より高い条件で実施ください。）

⚠ 注　意	アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

再度使い始めるとき

■下記作業 **1** ～ **4** の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 フィルターを清掃して、取付ける。

2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	**据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。** ●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
⚠警告	**当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。** ●法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの恐れがあります。 ●封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。 ●それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠ 注　意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。

■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定

■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠ 注　意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。 ●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に充分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（29ページ参照）へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保　証　書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（24ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。
（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）
■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント		3年
オイルフィルターエレメント	随時	油が垂れる前に交換

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

北海道地区

道央地区
北海道冷熱サービスコールセンター
電話 (011) 862-1180 ファックス (011) 862-9497
札幌市白石区本通 20丁目南 4-2

旭　川 (0166) 25-1800
旭川市4条通 9-1703
(旭川北洋ビル6階)

帯　広 (0155) 24-1669
帯広市西3条 9-1
(帯広経済センタービル4階)

函　館 (0138) 51-8699
函館市五稜郭町 1-14
(住友生命五稜郭ビル6階)

東北地区

宮城県・山形県
東北冷熱サービスコールセンター
電話 (022) 224-1330 ファックス (022) 224-1343
仙台市青葉区大町1-1-30（新仙台ビル3階）

青　森 (017) 722-7718
青森市長島 2-10-4
(ヤマウビル5階)

秋　田 (018) 836-7880
秋田市中通 2-3-8
(アトリオンビル8階)

八　戸 (0178) 45-7289
八戸市八日町 36
(第一ビル5階)

郡　山 (024) 922-8959
郡山市駅前 2-11-1
(ビッグアイ19階)

盛　岡 (019) 653-3732
盛岡市菜園 1-3-6
(農林会館6階)

いわき (0246) 24-2120
いわき市平字作町 1-4-7
(エムズパレス305)

東関東 冷熱サービスコールセンター

千葉県・茨城県
電話 (047) 431-1194 ファックス (043) 224-3565
千葉市中央区栄町 36-10（YS千葉中央ビル）

関越 冷熱サービスコールセンター

埼玉県・群馬県・栃木県・長野県・新潟県
電話 (048) 650-1194 ファックス (048) 650-1278
さいたま市大宮区仲町 1-110（游辰館7階）

東京 冷熱サービスコールセンター

東京都（町田市を除く）・山梨県
電話 (03) 3803-1194 ファックス (03) 3803-5290
東京都荒川区荒川 7-19-1（システムプラザB館）

横浜 冷熱サービスコールセンター

神奈川県・東京都町田市・静岡県東部（富士川以東）
電話 (045) 681-1194 ファックス (045) 311-8204
横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1（ランドマークタワー内）

中部 冷熱サービスコールセンター

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県西部（富士川以西）
電話 (052) 243-1194 ファックス (052) 243-1193
名古屋市中区栄 3-18-1（ナディアパークビジネスセンタービル）

北陸 冷熱サービスコールセンター

石川県・富山県・福井県
電話 (076) 224-1194 ファックス (076) 233-6205
金沢市広岡 3-1-1 （金沢パークビル）

関西 冷熱サービスコールセンター

大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・兵庫県
電話 (06) 6391-8531 ファックス (06) 6391-8545
大阪市淀川区三国本町 1-3-4

中国・四国 冷熱サービスコールセンター

広島県・岡山県・鳥取県・島根県・山口県・香川県
愛媛県・高知県・徳島県
電話 (082) 291-1194 ファックス (082) 503-2417
広島市西区南観音 8-14-21（中国資材センター内）

九州地区

福岡県・佐賀県
九州冷熱サービスコールセンター
電話 (092) 471-1194 ファックス (092) 474-8298
福岡市博多区豊 1-9-71（九州資材センター内）

北九州 (093) 551-2937
北九州市小倉北区浅野3-8-1
(アジア太平洋インポートマート内)

熊　本 (096) 356-6231
熊本市花畑町 9-24
(住友生命熊本ビル2階)

久留米 (0942) 34-6730
久留米市日吉町 16-18
(久留米センタービル内)

大　分 (097) 537-7191
大分市中央町 1-1-5
(大分第一生命ビル3階)

長　崎 (095) 826-8301
長崎市万才町 3-5
(朝日生命長崎ビル7階)

宮　崎 (0985) 23-3883
宮崎市高千穂通 2-5-32
(日本生命宮崎駅前ビル9階)

佐世保 (0956) 24-7718
佐世保市三浦町 2-8
(明治安田生命佐世保ビル6階)

鹿児島 (099) 226-1912
鹿児島市東千石町 1-38
(鹿児島商工会議所ビル)

沖　縄 (098) 866-1175
那覇市久茂地 1-3-1
(久茂地セントラルビル)

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機システムサービス株式会社）

●三菱電機修理受付センター

0120-56-8634（無料）

www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター ファックス (03) 3424-1115 (有料)	(03) 3424-1111 (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター ファックス (06) 6454-3900 (有料)	(06) 6454-3901 (有料)

ご相談窓口（三菱電機株式会社）

三菱電機空調ワンコールシステム

店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは

フリーコール 0120-9-24365 （無料）
空調 24時間365日

■技術相談 平　日 9：00～19：00
土・日・祝 9：00～17：00
■修理依頼 365日・24時間受付
■サービス部品注文 365日・24時間受付

三菱電機冷熱相談センター

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談は

フリーボイス 0037-80-2224 （無料）

<携帯電話・PHS・IP電話の場合> 073-427-2224（有料）

■電　話 平　日 9：00～19：00
土・日・祝 9：00～17：00
■ファックス 365日・24時間受付 フリーボイス 0037-80-2229（無料）
<IP電話の場合> 073-428-2229（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

R10A

仕様　室内ユニット仕様表　ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

●PL-ZRP・BA6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	80形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	31–30–28–27			32–31–29–28		34–32–30–28	34–32–30–28
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	16–15–14–12			18–16–15–13		21–18–16–14	22–20–18–16
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840						298×840×840
質量（本体＋パネル） kg	22+6						26+6

形名	112形	140形	160形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	43–40–36–32	44–41–38–34	44–42–39–36
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	31–28–24–20	33–30–26–22	33–30–27–24
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×840×840		
質量（本体＋パネル） kg	26+6		

●PL-ERP・BA6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	80形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	31–30–28–27			32–31–29–28		34–32–30–28	34–32–30–28
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	16–15–14–12			18–16–15–13		21–18–16–14	21–19–17–15
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840						
質量（本体＋パネル） kg	22+6						

形名	112形	140形	160形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	43–40–36–32	44–41–38–34	44–42–39–36
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	31–28–24–20	33–30–26–22	33–30–27–24
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×840×840		
質量（本体＋パネル） kg	27+6	26+6	

●PL-RP・BA6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	80形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	31–29–28–27		31–29–28–27	32–31–29–28		34–32–30–28	
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	15–13–12–11		16–14–12–11	18–16–14–12		21–18–16–14	
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840						
質量（本体＋パネル） kg	22+6						

形名	112形	140形	160形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	40–38–36–33	41–39–36–34	42–40–37–35
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	26–24–22–20	31–28–25–22	32–29–26–24
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840	298×840×840	
質量（本体＋パネル） kg	23+6	27+6	

●PL-RP・JA6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	80形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	35–34–32.5–31		37–35.5–34–32		39–38–36.5–35	39.5–38–36.5–35	
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	15–14.5–14–13		16–15–14–13		17–16–15–14		
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×660×660						
質量（本体＋パネル） kg	19+3.7				20+3.7		

●PM-(H)RP・FA6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	RP80形	HRP80形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	36–34–32–29		37–35–32–29	38–35–32–29	39–37–35–32	41–38–35–32		42–38–35–32
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	14–13–12–11		15–14–12–11		19–17–16–14	20–18–16–14		
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	225×1112×724							
質量（本体＋パネル） kg	25+6.5				26+6.5			27+6.5

●PC-RP・KA(L)6/HA6形

形名	40KA(L)形	45KA(L)形	50KA(L)形	56KA(L)形	63KA(L)形	71KA(L)形	80KA(L)形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	34–32–30–28		36–34–32–29		36–34–32–30	37–35–33–31	
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	12–11–10–9		13–12–11–10		17–15–14–13	18–16–15–14	
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	230×960×680				230×1280×680		
質量 kg	24				32		

形名	112KA(L)形	140KA(L)形	160KA(L)形
騒音：強ー中ー弱ー静粛 dB	43–40–37–34	44–42–39–36	46–43–40–37
風量：強ー中ー弱ー静粛 m^3/min	28–25–22–20	31–27–24–21	33–28–25–22
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	230×1600×680		
質量 kg	36	38	

形名	80HA形	140HA形
騒音：強ー弱 dB	38–32	50–44
風量：強ー弱 m^3/min	19–14	38–30
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	280×1136×650	280×1520×650
質量 kg	41	56

様式 1 冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　年　月　日～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者				
施設名称		系統名		設置年月日				
施設所在地		電　話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電　話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途	空調用	検知装置	
点検事業者 所在地		電　話		冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒	R410A 初期充填量(kg)	点検周期 基準	実績(月)					

作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。＊ JRA: 社団法人　日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14 について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台／室内機1台）での、冷媒配管長30mを想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg～16.1ton）

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話（　　　）　　－
お買上げ（据付）日	年　　月　　日

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3－18－1
BH79D178H03